

令和5年度 区長と語る会 所管割当表

地区 木崎地区

区分	番号	要望等	所管課	関連質問
協議	1-1	健康診断受診率について	健康福祉課	
協議	1-2	福祉・コミバスの配置について	健康福祉課 地域総務課	有 R4同様
協議	1-3	防犯カメラについて	区民生活課 地域総務課	
要望	2-1	「ありのみ荘」の今後の計画について	地域総務課	有 R2同様
要望	2-2	若年層の人口減少について	地域総務課 健康福祉課	有 R4同様
要望	2-3	笹山小学校の敷地・建物等の今後の取り扱いについて	地域総務課	

【木崎地区 コミュニティ木崎村】

【協議】 ・ 要望 ・ 連絡 【事項 1-1】

※所管課：北区健康福祉課

【協議・要望・連絡等】

木崎地区の健康診断受診率が数年前は新潟市内でワースト1であり、去年はワースト2でありました。

今後、受診率を上げ、木崎地区の健康寿命の延伸を進めていきたいと思えます。何か受診率を上げる具体的な良い方法はないでしょうか。

※【回答】

ご意見、ありがとうございます。

健康寿命延伸の第一歩として、まずはご自身の健康状態を知るきっかけに、特定健診をお受けいただきたいと考えています。

区では、受診率を上げるため、地域の集まりの場や各種がん検診会場での受診勧奨、区だよりへの掲載などあらゆる機会を捉えて受診啓発をしております。また2年前から「健康づくりミニブック」を区内各所に設置してPRを行い、昨年度からは、特定健診の委託医療機関を回って、先生方のご意見を伺いつつ協力依頼を行っております。

また、個別対応の1つとして、満40歳の方（新規の健診対象者）、満60歳～67歳の新規国保加入者（新たな特定健診対象者）に電話をかけ、特定健診について説明しながら受診勧奨を行っております。

今後も他区とも情報共有を図りながら、対策を検討して参りますが、地域の皆様同士のお声掛けが、ご家族・ご友人には届きやすいことがございます。機会を捉えて健診の話題を出していただいたり、地域の集まりの場で、地区担当保健師が健康寿命延伸についてお伝えする機会をいただいたりと、地域全体で受診率向上に向け、意識を高めていけるとよいと思えます。

どうぞよろしく願いいたします。

【木崎地区 コミュニティ木崎村】

【協議】 ・ 要望 ・ 連絡 【事項 1-2

※所管課：北区健康福祉課・北区地域総務課

【協議・要望・連絡等】

今後ますます高齢化社会が進んでいく状況の中、福祉活動の充実が大変重要であります。そして、地域の安心・安全、活性化を考えたとき、コミ協活動の充実も必要不可欠です。

現在、新潟市全体で99のコミ協が発足し活動しています。このような状況の中、8地区で福祉バス1台ではあまりにも不十分です。今後、各区に1台以上の福祉・コミバスを配車して頂きたい。

※【回答】

ご指摘のとおり、地域の活性化や福祉活動・コミュニティ活動の充実は全市共通の課題であると認識しています。

本市では、総合計画の重点戦略として「誰もが個性と能力を発揮しながら、心豊かに暮らせる社会の実現」の中で、老人クラブなどの高齢者団体や障がい者団体が、研修会やグループ活動などを行うときに福祉バスを運行し、高齢者や障がい者の社会参加や生きがいつくりなどの地域活動を支援しています。また、地域住民が主体となり様々な取組みを行う自治会や地域コミュニティ協議会、市民団体に対し、課題解決や地域の魅力向上などに向けた活動を支援しています。

現在、高齢者支援課が運行管理している福祉バス2台は、多くの利用希望があると聞いておりますが、当面はそちらをご利用くださるようお願いいたします。

また、本市としてはコミバスの配車ではなく、地域のみなさんによる自主的・主体的な活動の取組みの促進を図り、地域課題の解決を図る活動には、地域活動補助金によりコミュニティ活動を後押ししています。バスを活用した地域活動を行う際、バス借上料については、地域活動補助金をご利用いただける場合がありますので、地域総務課へご相談ください。

【木崎地区 木崎自治会】

【協議】 ・ 要望 ・ 連絡 【事項 1-3

※所管課：北区区民生活課・北区地域総務課

【協議・要望・連絡等】

質問票（防犯カメラについて）

標記の件、記念増加している犯罪や交通事故に於いて、マスコミ(特にテレビ)では、必ず、防犯カメラによる画像が公開されています。時には災害時の様子がライブカメラによって見る事ができます。新潟市でも2018年(平成30年)5月7日、新潟市西区で小学校2年生の誘拐殺害、線路に遺棄される悲しい事件がありました。西区では、事件後防犯カメラの積極的設置が進められたと聞いています。新潟県・新潟市も補助金制度(令和3年度で終了)を設け、設置拡大に取り組んできたことは、承知しておりますし評価しています。しかしながら、北区においては、自治会毎の設置状況に隔て莉が有ります。そのような状況を鑑みて、質問をいたします。お忙しい所恐縮ですがご解答いて頂ければさいわいです。

質問1 北区として、今後防犯カメラの必要性を感じますか？ 増設の考えはありますか？

質問2 設置の理由・目的が子供の通学路との事ですが、今後も変わりませんか？
例 大きな交差点やガソリンスタンドや農協さんの周辺等通学に直接関係しない所

質問3 地域活動補助金は1/2(上限30万円)ですが、防犯カメラ補助金は復活しませんか？
※現在の社会情勢を考えて

質問4 補助金申請の仕方が、初心者では複雑に感じるのですが、簡単になりませんか？
※1 区民生活課(初期相談) 2 建設課【市道・公園(占用許可)】
3 地域総務課(補助金) 4 警察(設置場所の報告) 窓口を一本化する等

質問5 過去に防犯カメラ補助金申請で不許可になった事例はありますか？

質問6 申請期間は毎月4月から5月末迄で、結果は7月上旬との事ですが、申請してもすぐに設置工事が出来ないのはなぜか？(木崎自治会は結果にこだわりません)
※自治会の総会は2月又は3月の年度末に行われ、議案が採決されます。総会の承認を得てから設置まで4~5ヶ月も待ちの状態になります。事件や事故はいつ起きるか分かりません。少しでも早く自治会の民意を反映したいものです。(不許可でも設置します)

質問7 木崎自治会としては、毎年数台(2台くらい)を設置していきたいと考えていますが、申請の簡素化はできませんか？

質問は以上ですが、回答によっては追加の質問があるかもしれません。ご了承ください。

※【回答】

<質問1：防犯カメラの必要性について>

防犯カメラは犯罪の未然防止に一定の効果があると認識していますが、地域の安心安全の確保のためには、防犯カメラに過度に頼ることなく、地域ぐるみで見守り活動を行うことが基本であると考えます。

また、録画した映像には個人情報が含まれ、プライバシーの侵害など人権上の問題が指摘されることもあり、設置に対する地域内の合意形成と適切な管理が必要と思われるため、新潟市では一般的な道路などへの直接設置は行っておりません。こうしたことから、北区としても防犯カメラを増設する予定は今のところありません。

<質問2・3：設置理由・目的、防犯カメラ整備補助金の復活について>

令和元年度～令和3年度の3年間は、防犯カメラ整備補助金により防犯カメラの新設が行われました。令和4年度からは、地域活動補助金（設備整備）を活用いただいております。子どもの通学路に限定せず、道路や公園、ごみ集積所など公共の場所の見守りなどに、設置目的の対象を広げております。以前の補助金が復活する予定は今のところありません。

<質問5・6：補助金の採択状況、補助申請後の着手時期について>

申請スケジュールですが、新潟市の予算の議決が3月下旬となることから、申請受付期間が4月から5月末までとなっております。また、各自治会などの団体により総会の時期が異なりますので、申請ができない団体になるべく出ないような期間となっております。予算に限りがあることから、全市分の申請を審査し、補助団体を選定するため、交付決定が7月上旬となります。そのため、総会の承認後、着手までにお時間がかかり申し訳ございませんが、ご理解くださいますようお願いいたします。また、申請状況や審査の結果、必ず補助団体に選定されるわけではありませんが、昨年度・今年度の防犯カメラの申請があった団体はすべて選定されています。

<質問4・7：補助金申請の簡素化について>

申請の簡素化については、窓口を一本化したことにより、提出後、再度来庁いただいたり、交付決定後に、設置の許可が出なかったなどということがないように、事前に申請団体から直接、担当部署にご確認のうえ、申請いただいております。防犯カメラの設置には、プライバシー保護のため、適切に運用していただく必要があります。運用規定や注意事項の確認、設置場所により許可の確認が必要なため、手続きの簡素化は難しいところですが、ご理解ご協力をお願いします。

お手続きでご面倒をおかけしますが、まずは区民生活課へご相談くださいますようお願いいたします。

【木崎地区 コミュニティ木崎村】

【協議 ・ 要望 ・ 連絡 】 事項 2-1

※所管課：北区地域総務課

【協議・要望・連絡等】

「ありのみ荘」の今後の計画について

令和2年度の区長と語る会において、ありのみ荘の管理と今後の環境整備等についてお聞きしましたが、回答は令和3年度末のコミュニティバス事業の廃止に併せて解体等を一体的に検討するとのことでありました。

昨年度からマイクロバス車庫も使用されなくなったことから、環境改善と有効活用の観点から、解体を検討していただきたいが、その後、どのような計画になっているか、お聞きしたい

※【回答】

木崎コミュニティセンター移転、及び、コミュニティバス事業の廃止により、ありのみ荘と併設するコミバス車庫を供用廃止しました。現在、ありのみ荘は文書保管場所として、コミバス車庫は倉庫として使用しています。

解体後の売却・貸付又は利活用についての検討を行っていますが、用地の測量などに課題もあり、進んでいないのが現状です。

今後は、課題を整理しながら、解体等に向けて準備を進めてまいります。

【木崎地区 尾山団地第二自治会】

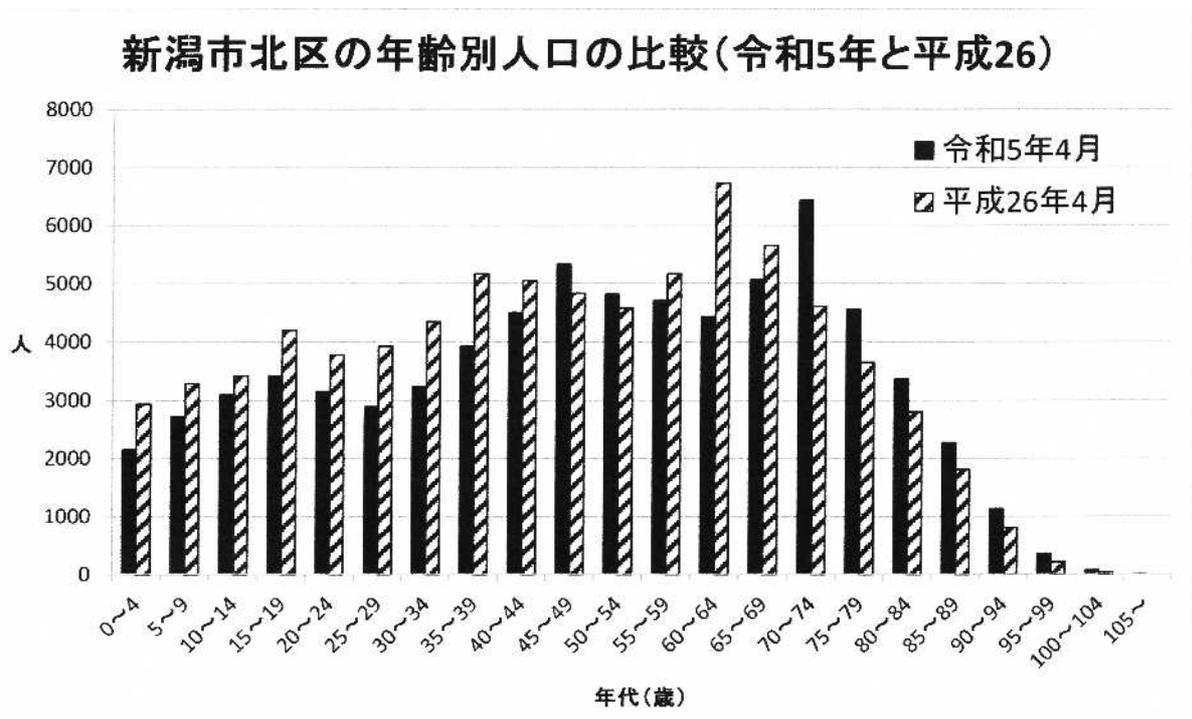
【協議 ・ 要望 ・ 連絡 】 事項 2-2

※所管課：北区地域総務課・北区健康福祉課

【協議・要望・連絡等】

令和4年度に引き続きお聞きします。

住民基本台帳人口に基づく新潟市総務課統計「区別男女別年齢別人口」における平成26年4月と令和5年4月の北区年齢別人口を下記に記します。



質問1 :平成26年から令和5年の9年間で15歳から44歳の年代の減少が進んでいる。

・平成26年の15~19歳の層がそのまま北区に定着されれば若年層の減少に至らないのではないか。

質問2 :出生数が800人程度減少している。

・出産できる産科病院医院の変動や育児環境で、北区で出産し育児することに対して不安があるのではないか。

要望：昨年も若年層の人口減少を取り上げさせていただいたが、一般的な回答に終始し、具体的な原因の追求と的を得た取組に至っていないと思う。

北区ビジョンまちづくり計画を現在の状況改善に向けより具体化し、「選択と集中」の政策を進めていっていただきたい。

将来ある子供たちのための北区となるよう望みます。

※【回答】

<地域総務課>

ご指摘のとおり、北区に限らず新潟市においても、人口減少・少子高齢化が進んでおり、働き手の減少や地域経済の縮小などさまざまな課題が生じることが想定されます。

そのため、今年度新たに策定された新潟市のまちづくりの在り方を示す「新潟市総合計画」では、「人口減少を和らげる」「人口減少社会に適応する」ためのまちづくりを進めることとしています。

その計画を踏まえ北区では、若者が北区の魅力に触れ、北区に愛着をもっていただくことで、少しでも北区に住みたくなる、あるいは帰ってきたくなるまちとなれるよう、新たな「区ビジョンまちづくり計画」のもと、若者と協働で進めるまちづくりに取り組んでいく予定です。

具体的には、大学生と連携し北区の魅力を SNS で発信する事業や、露天市での大学生の出店、商店街のイベントに参加してもらうなど、少しずつ若者と連携したまちづくりを進めています。

若者の人口流出を少しでも和らげられるよう、引き続き取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

<健康福祉課>

ご質問のとおり現在、北区には産科病院医院はなく、産科がなくなったことや小児科の閉院などご不安に思う声を区にもいただいています。

家族の形も多様化し、子育ての悩みを相談できる人が身近にいないなど、孤立を防ぎ、社会で子育てを行うための仕組づくりが求められています。

本市では、子どもと子育てにやさしい新潟を目指し、これまでに病児病後児保育施設の全区展開や保育コンシェルジュ・子ども家庭総合支援拠点を全区に設置しています。

令和3年度には、合計特殊出生率が28年ぶりに全国平均を上回るなど一定の成果を上げています。

加えて区では、特色を生かした子育て支援の取組みとして、ふゆっこまつり・パパスクール・子育て支援マスター派遣などを通じて、地域における子育て支援をしています。

地域の皆さまからも引続き子ども達の見守りをお願いいたします。

【木崎地区 コミュニティ木崎村】

【協議 ・ 要望 ・ 連絡 】 事項 2-3

※所管課：北区地域総務課

【協議・要望・連絡等】

笹山小学校の敷地・建物等の今後の取り扱いについての進捗状況を考えて頂きたい

※【回答】

現在、地域のみなさまと作成した地域別実行計画に基づき、条件付き売却にむけて準備を進めているところです。測量が終わり、これから不動産鑑定を行うための準備を行っています。

今後は、プロポーザル実施のための要件設定、プロポーザル審議会開催準備等を行い、年度末から次年度初めにかけて、プロポーザルの実施ができるよう取り組んでいく予定です。プロポーザル実施内容等が決まりましたら、地域住民のみなさまには文書等でお知らせさせていただこうと考えています。